

ビオトープ



「未来につなげるビオトープ」

石原早織

近藤恵美

下川ゆめ

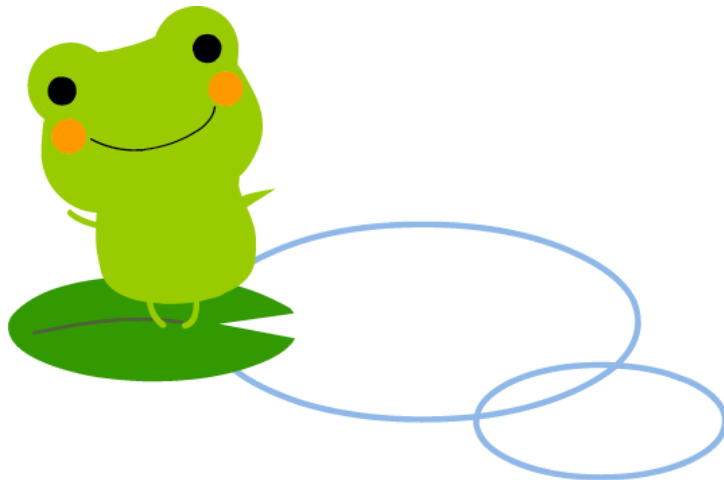
谷原すみれ

中本千晴

長谷川志穂

先輩方(1年目)の目標

- ヘイケボタルの保全・放流
- 生徒たちの憩いの場へ



放置されていたビオトープ



ホタルの住みやすい環境作り



ヘイケボタルの放流



タニシ・カワニナ・モノアラガイなどの貝類を
エサとして一緒に放流

完成したハート島



このような状態で受け継いだ 🍷



ビオトープの全体図



自分たち(2年目)の目標と計画

先輩方の目標をふまえて...

① 水質を調査

👉 パックテストでCODなどを測定



網で生物を捕獲し生態調査

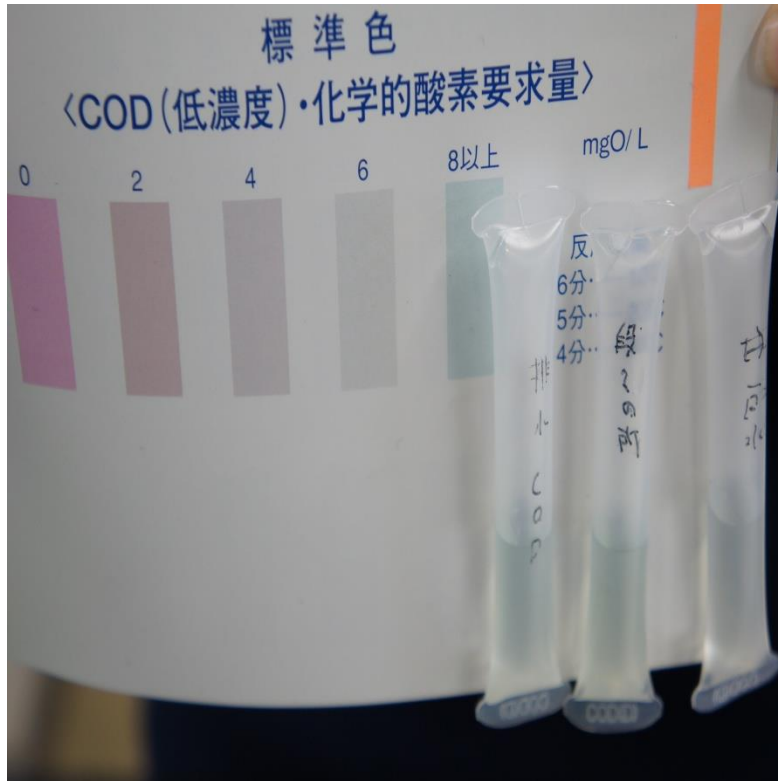
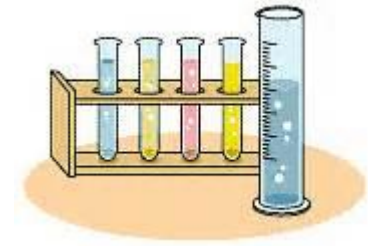
② ヘイケボタルの継続調査



③ ビオトープの今後の具体的な計画を検討



①化学的な水質調査 パックテスト・pHなど測定



化学的な水質調査

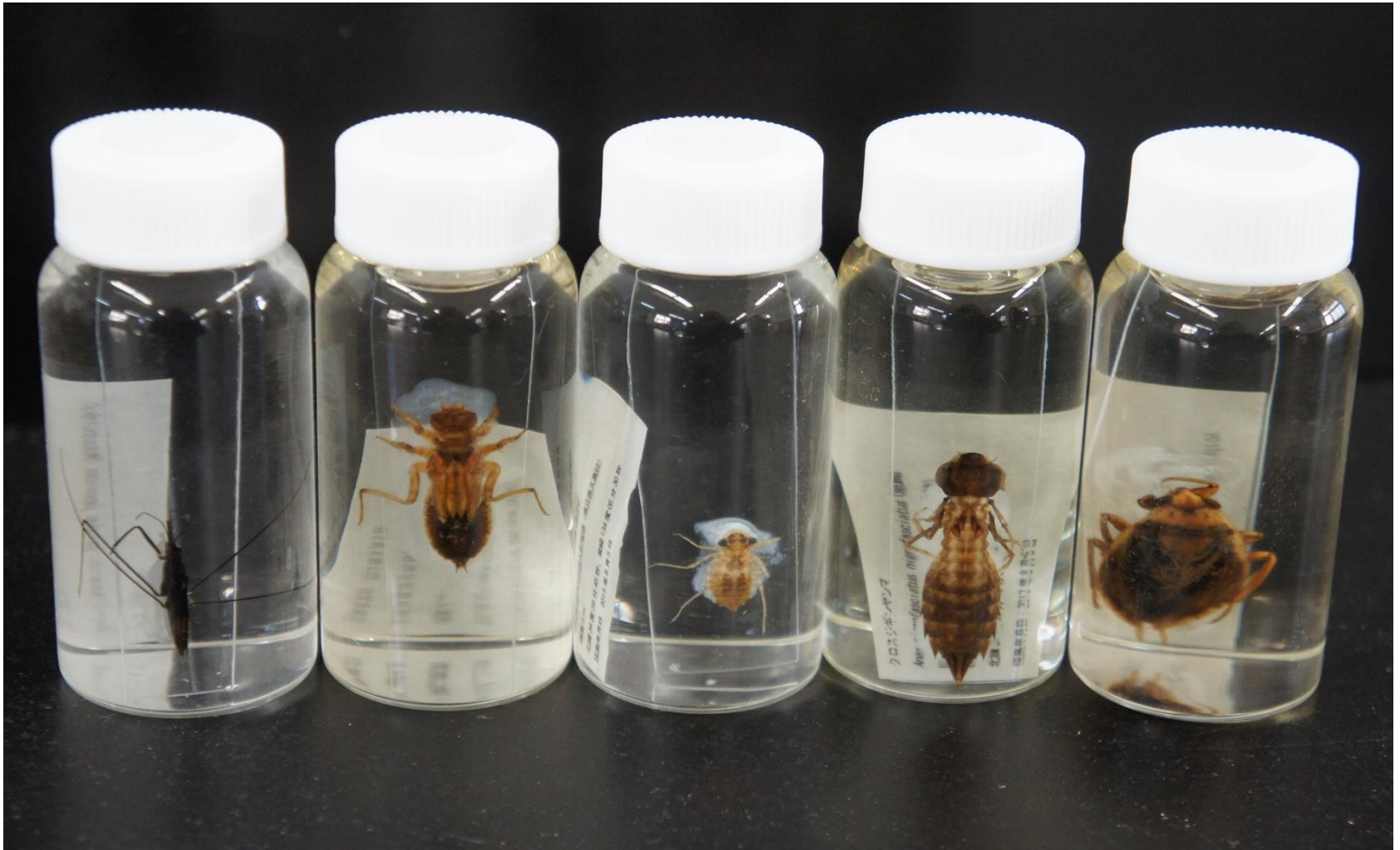
12月9日のパックテスト



単位はmg/L (pH以外)	COD	NO_3^-	PO_4^{3-}	pH
井戸水	8以上	0.5	2	7.0
石段	8以上	2~5	1.5	8.2
排水口	8以上	1.0	1.5	9.0

生物学的な調査

8月5日に捕まえた生物の標本





スクミリンゴガイの卵



■通称：たんぼのおばけガイ■

- なぜ日本に持ち込まれたか？

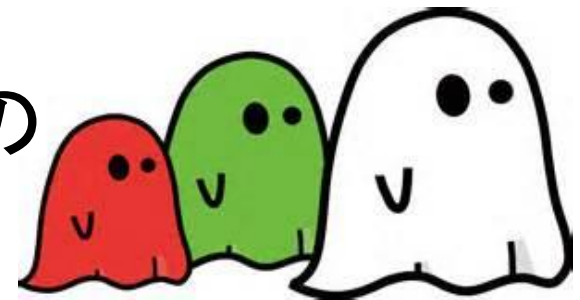
 1980年代前半に南アメリカから台湾などを
経由し食用を目的に

・・・現在は需要がほぼなく価値はない

- 現在の被害の状況は？

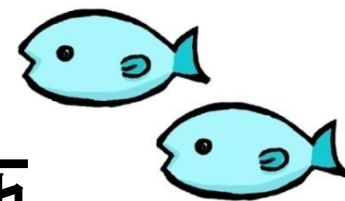
 野生化した貝が生育初期の稲を加害し、
各国で大きな問題へ

日本でも九州など西南暖地の
水田で被害





生物学的な調査



11月15日に掃除を実施



ミズカマキリ



ヌマガエル

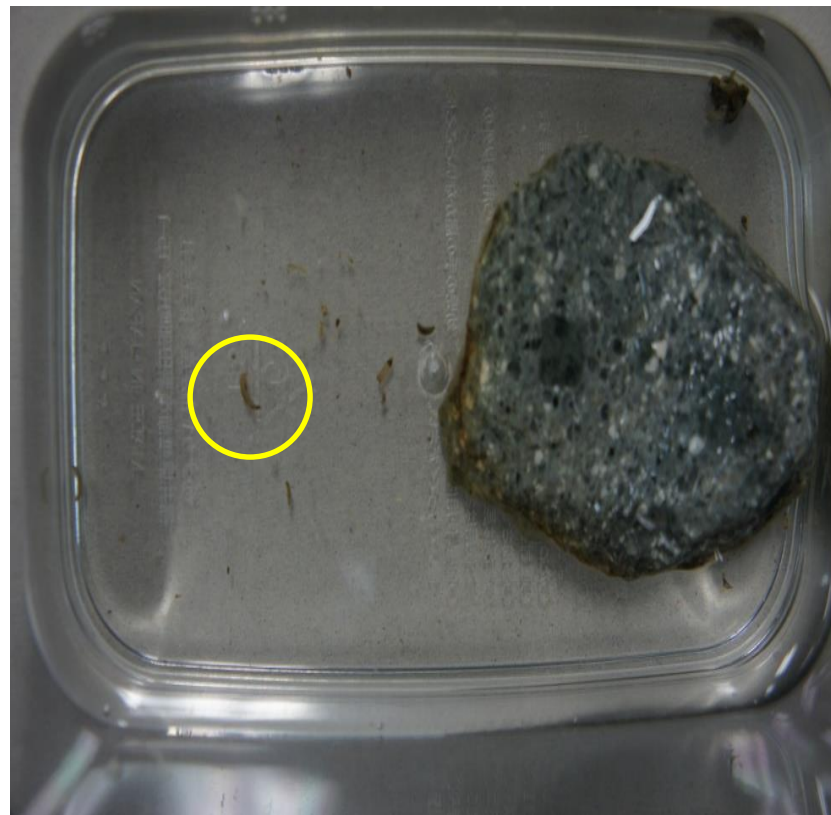
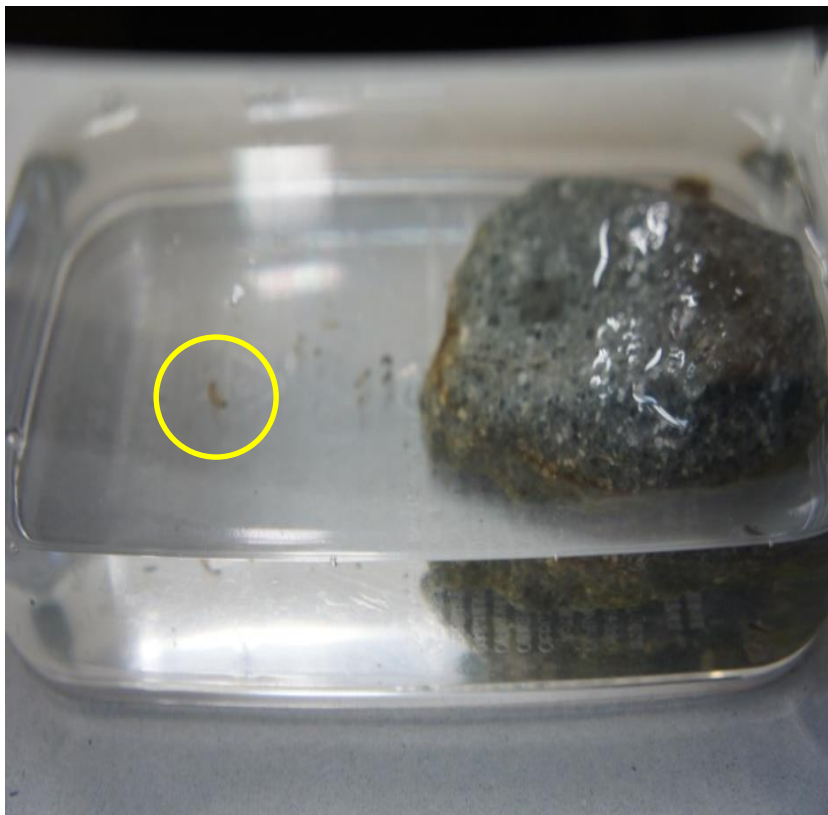
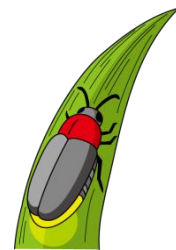


カネヒラ



↑ 全体的なビオトープの状態 ↑

②ヘイケボタルの現在の状況



生物教室でも飼育中！

③ ビオトープ計画

どのようなビオトープにするか？

50年後に残せられるようなものに！！！！

ということは・・・

50年前の邑久町の環境を知る

 地域のひとに聞き込み
ビオトープの見学

その調査結果から

以前からこの地域に住んでいた生き物を放流



カネヒラを繁殖させるには・・・



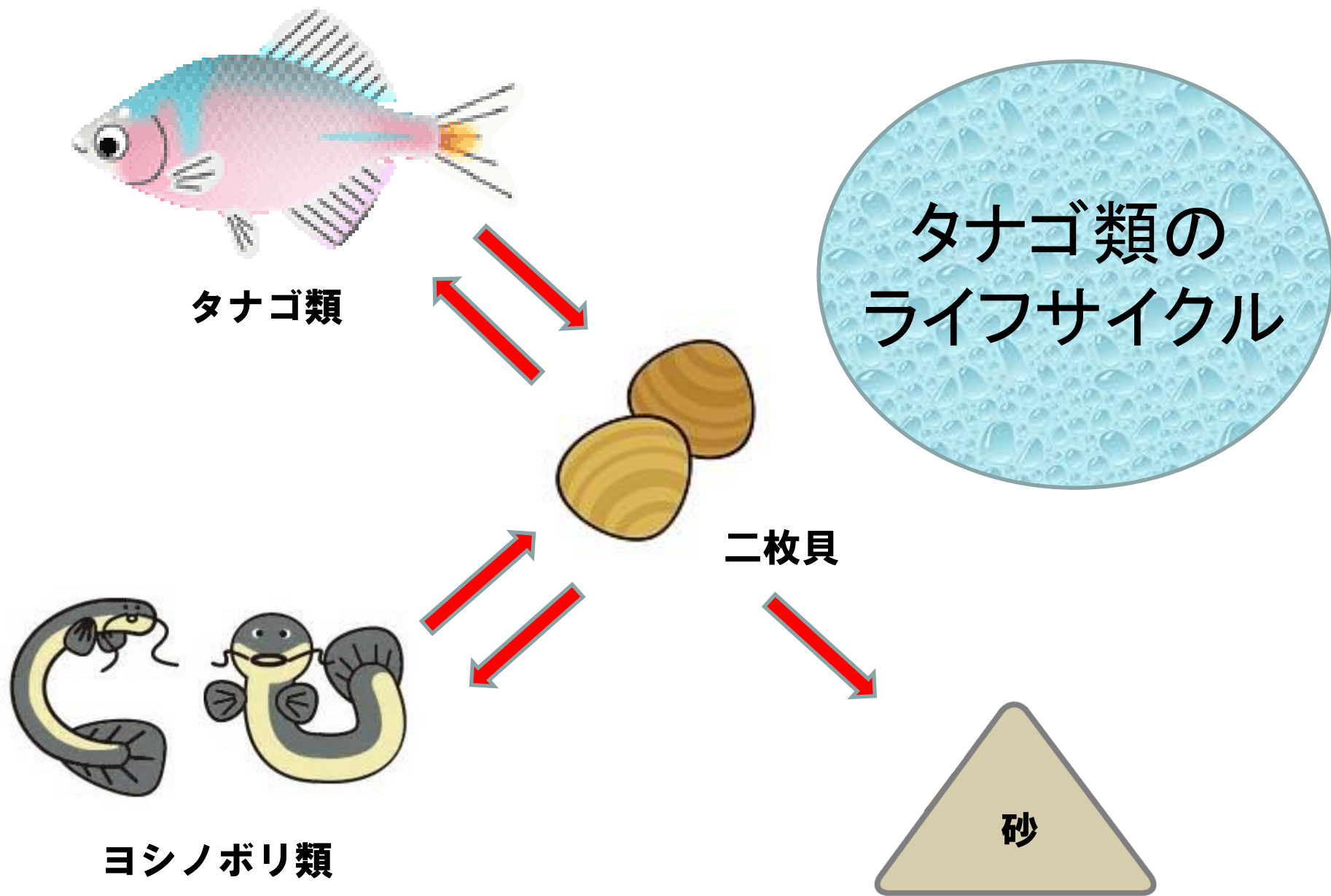
タナゴ類の ライフサイクル

タナゴ類

二枚貝

ヨシノボリ類

砂



鳥取大学

日置先生からのアドバイス



まとめ



- ・バランスの良い生態系を保つ

👉 定期的にバックテスト・生態調査を行う

- ・生徒が立ち寄りやすい場を作る

👉 ベンチをビオトープの周りに置く

- ・絶滅危惧種の保全活動を継続する

👉 昔この地域に生息していた生物
現在育っている絶滅危惧種